【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和5年6月28日(2023.6.28)

【国際公開番号】WO2022/208574
【出願番号】特願2023-509889(P2023-509889)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　1/0076(2019.01)
Ｆ２４Ｆ　8/30(2021.01)
Ｆ２４Ｆ　8/192(2021.01)
Ｆ２４Ｆ 11/89(2018.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/0076
Ｆ２４Ｆ　8/30
Ｆ２４Ｆ　8/192
Ｆ２４Ｆ 11/89

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月3日(2023.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空気調和装置の室内機に備えられる電気装置であって、
前記電気装置を制御する本体制御部と、
前記電気装置に供給する電圧を生成する電圧生成部と、
前記本体制御部と前記電圧生成部とを接続する配線と、
前記本体制御部および前記電圧生成部を内部に収容する電気装置ケースと、を備え、
前記電気装置ケースは、
前記配線が配置される配線室と、
前記本体制御部が内部に収容される第１室と、
前記電圧生成部が内部に収容される第２室と、を有し、
前記第１室の内部と前記第２室の内部とは、前記配線室の内部を介して繋げられている
、電気装置。
【請求項２】
前記電気装置ケースは、
前記本体制御部および前記電圧生成部が取り付けられるケース本体と、
前記ケース本体と対向して配置されるカバー部材と、を備え、
前記配線室は、前記ケース本体と前記カバー部材とにより形成されている
請求項１に記載の電気装置。
【請求項３】
前記カバー部材は、前記ケース本体に向かって開口する溝状の経路部を有し、
前記配線室は、前記経路部の開口が前記ケース本体によって塞がれて形成されている
請求項２に記載の電気装置。
【請求項４】
前記ケース本体は、前記本体制御部を内部に収容する収容部を有し、
前記収容部を構成する側壁部には、開口部が設けられ、

前記経路部の一端部は、前記開口部に挿入されている
請求項３に記載の電気装置。
【請求項５】
前記配線室の内壁には、前記配線室の内部に突出する少なくとも一つのリブが設けられている
請求項１から請求項４のいずれか一項に記載の電気装置。
【請求項６】
前記電気装置は、電気集塵装置およびイオン発生装置のいずれか一方である
請求項１から請求項５のいずれか一項に記載の電気装置。
【請求項７】
筐体と、
前記筐体の内部に収容された熱交換器と、
前記筐体の内部に収容された送気機構と、
前記筐体に取り付けられた請求項１から請求項６のいずれか一項に記載の電気装置と、
を備える、室内機。
【請求項８】
請求項７に記載の室内機と、
冷媒が循環する循環経路部によって前記室内機に接続された室外機と、を備える、空気調和装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示の電気装置の一つの態様は、空気調和装置の室内機に備えられる電気装置であって、前記電気装置を制御する本体制御部と、前記電気装置に供給する電圧を生成する電圧生成部と、前記本体制御部と前記電圧生成部とを接続する配線と、前記本体制御部および前記電圧生成部を内部に収容する電気装置ケースと、を備え、前記電気装置ケースは、前記配線が配置される配線室と、前記本体制御部が内部に収容される第１室と、前記電圧生成部が内部に収容される第２室と、を有し、前記第１室の内部と前記第２室の内部とは、前記配線室の内部を介して繋げられている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本開示の室内機の一つの態様は、筐体と、前記筐体の内部に収容された熱交換器と、前記筐体の内部に収容された送気機構と、前記筐体に取り付けられた上記電気装置と、を備える。